

後期始業式から卒業式、進級に向けて

校長 松澤 朗

1. 後期がはじまりました！

10月10日の後期初日の私のメモの一部に、「全体的に落ち着いていた。相変わらず2年3組の空き教室はきれい。朝のあいさつも元気！！」とありました。気持ちの良い1日目でした。

4月から、当たり前のことをできるようになろうと呼びかけてきました。生徒会も、時間を守るなど基本的な生活習慣の呼びかけを頑張っています。現在も取り組んでいる「カメレオンの活動(時間を守る)」も、まさに生活習慣の確立への取り組みです。素晴らしいです。

PTA総会等でもお話ししましたが、「学校は子どもを鍛える場」です。また、学校は、「子どもたちが会う最初の小さな社会」です。だからこそ、義務教育の最後の中学時代が、次の社会の基盤になります。いろいろな体験をして、毎日を大切にしていって、成長をしていきたいです。あつという間に3月を迎えます。一つ一つ積み上げて、卒業式・進級を迎えてほしいです。

朝の昇降口や廊下ですれ違いざまに、あいさつや黙礼ができる子がどんどん増えてきました。気持ちのいい朝です。あいさつは人を結ぶスタートです。大事にしたいと思っています。素敵な学校です。



今回も素晴らしかった生徒総会(10/24)

2 ボランティア委員会が古着を一般社団法人に寄付しました。



10月26日に、保護者や地域の皆様にいただいた古着を「一般社団法人生活就労自立サポートセンター」に寄付しました。この社団法人は、サポートをしている人に、海外で古着を配布する活動で、その人の、自立を促すだけでなく、海外の子どもに着てもらい、とても喜んでもらっているとのこと。小泉中が昨年からの寄付しており、大いにその活動に貢献しているとのこと。人のためになっていることは、やはり喜ばしいことです。

学校に寄付がありました。ありがとうございました。

- ・合唱指揮台←株式会社テクノハヤシ 様より 文化発表会等の活動に使えます。感謝！！
- ・プロジェクター←一般財団法人総合初等教育研究所 様 台数が不足していたのでうれしいです。

